

粕谷和夫の観察日記。今冬シーズンは冬鳥のツグミをほとんど見かけません。その代わりではありませんが、新宿御苑でツグミの仲間で冬鳥であるアカハラとシロハラに出会いました。2羽は同じ場所で、木の下で採餌していました。まさか新宿御苑でアカハラに出会えるとは思っていませんでした。

紅葉台



新聞

第172号

2025年
3月8日

発行人：関谷 孝

ギャラリー&ガーデンカフェ ヤスタケ♥



タイムスリップの世界へ
以前八王子のアンテナショップ「ちとせや」で「ちとせやマップ」をもらいました。そこで「お勧めのお店」として紹介されたのが「**ギャラリー&カフェ ヤスタケ(屋号)**」

場所は八王子八幡町12-11。甲州街道から一つ奥に入った通りですが、特徴のある建物なのですぐに見つかりました。昭和モダンのおしゃれな建物です。マップの紹介文には「アンティークのランプと家具のある店内はまるで異国。真空管アンプから流れる温かみのあるジャズとコーヒーを楽しめます」とあります。

定休日は土・日。営業時間は11時～17時。

タウンニュースに写真展を開催中とありましたので早速写真展の鑑賞もかねて出かけってみました。



店長の田中康之さんと看板犬ポチは15歳。とても人懐っこく可愛いポチはジャックラッセルで5匹生まれたうちの1匹。若かりし頃はサーファーでした(笑)。その証拠にメニュー表に写真が載っていました。



田中康之さんは、この地で生まれた生粋の八王子っ子。75年前にこの地に建物を建てたと言います。その当時からとても目立つ建物だったことでしょう。かつてはカメラの仕事や絵葉書を作っていました。そのご縁もあり。現在は、2階を写真ギャラリー。3階には版画がたくさんあり、皆さんに開放していますので見学することができます。

特に目を引く家具や照明は、アンティーク。オーディオテクネ(八王子)の特注品のスピーカーも並んでいます。奥のサンルームは、全面ガラスで庭の見える特等席。こんな素敵な空間は、映画やドラマなどの舞台としても幾度となく利用されています。

最近では京本大河の映画やトリンドル玲奈や玉木宏等が撮影に来たそうです。その写真もメニュー表に載っていました。

この日注文したレモンの酸味が効いた人気のチーズケーキ。

田中さんの自家製です。ウェッジウッドのカップに淹れられた珈琲はカザーナコーヒーの特注ブレンド。セットで800円。その他、カフェオレ、ダーズリン紅茶、ホッ



トサンド(各600円)など「このガーデンはバラの季節がいいですよ」と田中さん。中庭に出るとピンクの山茶花。その奥には離れがあり、そこも見学しました。オーク材で作られた、これまた落ち着いた2つのスペース。予約すれば使用可能とのこと。とても素敵な空間でした。



写真展では、写真家の清水宣彦さんが「アンスリウム宣彦～80歳からの情熱」を開催中。今年一年レンタルし常設展示をしています。清水さんは美山町に本社がある(株)日本エネルギーの会長。現在はこれまで撮

りためた4000作品の中から16枚を厳選して展示しています。真っ赤に燃える富士山、奥日光の戦場ヶ原、秋田の鳥海山元滝等迫力のある自然風景をとらえた作品が展示されています。どれも色彩豊かで驚くほどの美しさに目を奪われました。是非散歩がてらお出かけになってみてはいかがでしょうか。隠家のような異次元の空間できっと心癒されることでしょう!!



粕谷和夫の観察日記

八王子・川町谷戸の田んぼの陽だまりで咲いていた**オオイヌノフグリ**と**ホトケノザ**です。毎月1回実施している野鳥定期カウントの1月での出合です。この日は鳥の気配はほとんど無しでしたが、立春を迎える前の日差しで花が開いた一コマです。カウント終了後は田んぼの農家の縁側でお茶を頂き、一時の雑談にも花を咲かせました。



顔が黒色と緑黒色それに淡黄色、白色が組み合わせられて巴型の模様に見える**トモエガモ**。絶滅危惧種ですが、千葉県印旛沼には数万羽の群れがやって来て越冬しています。昨シーズンは京成成田空港線の印旛日本医大駅から歩いて片道1

時間かけてその光景を確認に行きました。そのトモエガモが地元八王子・長池公園にも来ています。今年はオス3羽とメス1羽でマガモと一緒に池の木陰で休んでいます。

モミジカフウか又は**トウカエデ**だと思いますが、早くも新葉を出しています。鮮やかな赤の新葉で、思わずシャッターを切りました。春はもうすぐです。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。